

# 「宮川彬良 & アンサンブル・ベガ」は少年になれる舞台

結成から15周年を迎える「宮川彬良 & アンサンブル・ベガ」が、3月15日にベガ・ホールで定期演奏会を行う。設立当初からのメンバーで、第2ヴァイオリン奏者の日比浩一さんに、話を伺った。



1984年京都市立芸術大学音楽学部卒業。同時に音楽学部賞を受賞。神戸室内合奏団ソロ・ヴァイオリン奏者、関西フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスターを経て、現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター。また、京都フィルハーモニー室内合奏団客員コンサートマスター、ザ・ストリングス名古屋、井上まゆみピアノトリオなど、幅広い演奏活動を行っている。宝塚市在住。

高校2年でヴァイオリンを再開し京都芸大に合格

——日比さんが、ヴァイオリンを始めたきっかけは？

5歳の時、歌の先生に「あなたの手はピアノに向いている！」と、無理矢理ピアノ教室に入れられたのですが、どうしても合わなくて、3ヵ月目に「ピアノは嫌いだけど、ヴァイオリンなら習う」と言ってしまった。中学2年生までヴァイオリンを続けていました。中高では野球部に所属して楽器から離れていたのですが、高校2年の進路指導で担任の先生に「こんな成績でどこに行くの？何か手に職は無いのか？」と言われてしまいました。他に選択肢も見つからず3年ぶりにヴァイオリン教室に通い、何とか京都市立芸術大学の音楽学部に入りました。オーボエとクラリネットの違いも分からないくらい基礎知識が無かったのですが、周囲に助けられ何とか留年せずに卒業できました。

——音楽理論は苦手だったそうですが、大学を首席で卒業。これまで数々の楽団でコンサートマスターをされています。

本当は、華やかに旋律を演奏する第1ヴァイオリンよりも、内声部で全体を支える第2ヴァイオリンに向いていると思うんです。楽団でコンサートマスターをしています。リーダーシップを取って皆をぐいぐい引っ張っているのではなく、指揮者の補佐役に徹している僕みたいなタイプは、珍しいのかも知れませんね。

楽団のメンバーの数を減らした

——「宮川彬良 & アンサンブル・ベガ」

では15年前に発足した当初から、個人的なメンバーを内声部で支える第2ヴァイオリンの担当です。

「音楽で、阪神・淡路大震災からの心の復興を」と、コントラバス奏者の新真二さんに誘われたのですが、正直自分に何ができるか分からなかった。でも、皆さんが気軽に楽しめるコンサートをやりたいとずっと考えていたので、その部分なら役に立てるかも、と思って仲間に入りました。室内楽は地味で女人好みと思われがちですが、宮川彬良さんのキャラクターでエンターテインメント性のある舞台になり、瞬く間に全国からお呼びがかかり、演奏会は150回を超えているんです。

——3月15日にはベガ・ホールで「結成15周年記念第19回定期演奏会」が開催されます。

これまで、様々なコスチュームで登場しましたが、さすがに女装だけは「かなわんな」と思いました(笑)。今回は、演奏者が自分の楽器が何だったか忘れるという、ちょっとファンタジックな展開を構成の響さんが考えているようです。私も含めメンバーにとって「宮川彬良 & アンサンブル・ベガ」は、少年のようにありのままの自分でいられる場所。仲間との演奏を心から楽しんでいます。

——最後に、日比さんが目指していることを教えてください。

クラシック音楽に触れたことがまだない人、敷居が高いなあと思っっている人に、生の演奏を届けたいですね。学校や地方にどんどん出かけたり、コンサートで様々な工夫をしたりして、クラシックをもっと気軽に楽しんでもらいたいと考えています。

## 各種証明写真の撮影お任せください！



入試・就活写真はプロの手で！  
履歴書・願書の印象が違います。

今なら合格祈願ミニ絵馬をプレゼント♪  
詳しくはお問合せください。

## ◆ネットプリントはこちら

スタジオナカモト

studio-nakamoto.com

写真の **ナカモト** Studioイマージュ **MAGE**

〒665-0011 宝塚市南口1丁目3-4

TEL&FAX **0797-72-1810**

営業 / 午前9時～午後6時 定休日 / 水曜日 ①完備